



豊かな成長を願って

学校長 村越 新

5月18日の土曜参観日には、多くの方にご来校いただきました。ありがとうございました。子供たちも教職員も、張り切った姿を見て抱き、感謝しています。

3校時の講演会では「扇っ子の豊かな成長を願って」話をさせていただきましたので、その一部を紹介します。



0 はじめに

- ・5月18日は「言葉の日」 ～ 良い教育は良い言葉から
- ・プール清掃 ～ 教師の細かい指示はなく、六年生がよく活動してくれた

1 子供をめぐる問題 ～「子供若者白書」「新聞記事」より～

- ・子供の数は減っていくが・・・
増加している「児童虐待」「小学生の暴力行為」「いじめ」「不登校」
- ・2021調査で、小学生のスマホ利用率が50%を超えた
- ・2020調査で、小学生の裸眼視力1.0未満の子が37%を超えた
- ・親に無断でゲーム等の課金をする子は、平均33万を使っている
- ・2022新体力テストによると、子供の体力は過去最低を記録

2 入間市の教育

- ・今、必要な授業は「探求力の獲得と実践」
- ・学習の習慣化・・・学力向上には一定の学習量が必要、特に低学年では
- ・学び合い学習の日常化により、多様な考えから自分の考えを深める
- ・ペア学習もグループ学習も男女混合が基本
- ・一斉指導から学び合い学習への転換を進める

3 50年目の扇小学校

- ・50周年のキャッチコピー、シンボルキャラクターを子供たちで決めた
- ・「自走する子」が育つ校内研修に取り組んでいる

アタック25：最低でも25分間の学習活動を行う授業

さっとGPT：教師の説明・指示は短く、すぐに活動をさせる授業

・ 県学習状況調査より

無解答率、学力を上げた子の割合は、県の平均を上回っている

「難しい問題でもあきらめない」回答は、どの学年も県を上回っている

・ 学校評価より

「子供が宿題をする」「わかりやすい授業」の評価が特に下がっている

・ 扇小学校家庭学習と学習時間を確保するためのメディアルールを定めた

(本校HP「教育課程」に載せている)

・ 授業では「課題に条件をつけ」「理由を説明させ」「最後まで見届けている」

・ 本校では「自力」を「自分で支援を求める力」ととらえている

・ 本校では「学習活動の時間が多い授業」を「良い授業」ととらえている

・ 子供を高めるためにはジャンプ課題が必要であり、本年度の重点としている

レベル1 教科書にない問題

レベル2 答えが1つに決まらない問題

レベル3 探求が続く問題

4 保護者へのお願い

・ 欠乏欲求を満たしてもらいたい

・ 一番大事なのはスマホではなく、子供

・ 主語のないNOではなく、

共感からの主語のあるNO

・ 前提や大きな主語で子供に指導する

→ 信頼関係作り

・ 大人の責任は大きい

最後まで聞いてない 代弁してしまう 教えてしまう

・ 子供の暴言3つの理由・・・真似、良いことがある、ストレス

・ 語彙力が高い子の親の特徴・・・その場で対応、発語が短い、明瞭な話

・ 聞く耳モードあいうえお

アイコンタクト うなづく 笑顔 おへそを向けて、おしまいまで

・ 教育の3原則 なぜ子供は歩いたか

できるまでやらせた つまらない小言がない 回りの大人も歩いていた

・ 成功者の共通点・・・いくつになっても母親が好き

紹介した事例

「プールの底はなぜコンクリートではないのか」

「先生、トイレがたいへんです」

「お母さん、じゃなくて先生」

「校長先生、〇〇で待っててね」

「ふわふわゴーで、ヘリコプターを」

